

令和6年度事業報告

公益財団法人富山県下水道公社は、下水道施設の適正かつ効率的な管理運営等に関する事業を行い、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質の保全に寄与することを目的としている。

富山県流域下水道については、令和5年度から5年間の指定管理者の指定を受けているが、県、流域関連市及び周辺住民の安心と信頼を得るため、また、公衆衛生の向上を図るため、引き続き各種事業を推進した。

<事業名及び主な内容>

区分	事業名	主な内容
1 指定管理事業	(1) 小矢部川流域下水道維持管理事業 小矢部川流域下水道修繕事業	・ 二上浄化センター、中継ポンプ場、幹線管渠の維持管理 ・ パークゴルフ施設の維持管理 ・ 災害等に対応した施設管理 ・ 1件100万円未満の修繕
	(2) 神通川左岸流域下水道維持管理事業 神通川左岸流域下水道修繕事業	・ 神通川左岸浄化センター、中継ポンプ場、幹線管渠の維持管理 ・ 災害等に対応した施設管理 ・ 1件100万円未満の修繕
	(3) 広域汚泥処理維持管理事業	・ 汚泥溶融処理施設の維持管理 ・ 高岡市公共下水道の下水汚泥の受入処理
	(4) 普及啓発事業	・ 下水道知識の普及啓発活動 (施設見学、夏休み水の研究室、下水道フェスタ、移動下水道教室 など)
2 自主事業	(1) 調査研究・研修・技術支援事業	・ 下水道フォーラムの開催 ・ 溶融スラグの有効利用に関する調査研究
	(2) 水質分析受託事業	・ 流域関連公共下水道から流域下水道幹線管渠接続点への流入水、流域関連市の特定事業所の排水、県内市町村の終末処理場・農業集落排水等の処理場の流入水・放流水、脱水汚泥の水質分析の受託

1 指定管理事業

流域下水道は、極めて公共性の高い重要な施設であるが、安全・適正に、かつ効率的・経済的な管理運営に努めた。

流入下水の処理にあたっては法令基準等を遵守するとともに、下水道に関する知識の普及啓発などの事業も積極的に実施した。

<流入下水流量>

流域名	R 6年度 計画 流入下水流量 (A)	R 6年度 実績 流入下水流量 (B)	R 5年度 実績 流入下水流量 (C)	対計画 B/A	対前年度 B/C
小矢部川 流域下水道	66,395 m ³ /日	70,042 m ³ /日	68,621 m ³ /日	1.055	1.021
神通川左岸 流域下水道	61,368 m ³ /日	60,745 m ³ /日	60,245 m ³ /日	0.990	1.008
合 計	127,763 m ³ /日	130,787 m ³ /日	128,866 m ³ /日	1.024	1.015

(1) 小矢部川流域下水道維持管理事業、小矢部川流域下水道修繕事業

(2) 神通川左岸流域下水道維持管理事業、神通川左岸流域下水道修繕事業

① 放流水質 …… すべて法で定める排水基準値以内での処理を達成している

ア 二上浄化センター【小矢部川放流】 ※ 主な項目について記載

区分	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	pH	大腸菌群数 (個/cm ³)
法令基準値	20	40	5.8～8.6	3,000
目標基準値 (注)	10	20	5.8～8.6	1,000
日平均	6.2	1.7	6.8	33
日最大	8.3	4.4	7.1	185
日最小	3.8	0.2	6.3	1

(注)「目標基準値」は、指定管理者募集要項で示された目標となる基準値。以下同じ。

イ 神通川左岸浄化センター【海域放流】 ※ 主な項目について記載

区分	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	pH	大腸菌群数 (個/cm ³)
法令基準値	20	40	5.8～8.6	3,000
目標基準値 (注)	15	20	5.8～8.6	1,000
日平均	8.8	2.8	6.9	14
日最大	13.6	6.5	7.2	99
日最小	5.1	0	6.5	0

② 中継ポンプ場の維持管理

流域名	中継ポンプ場の名称	維持管理の内容
小矢部川	福上中継ポンプ場（小矢部市）	運転管理、保守管理、修繕
神通川左岸	西本郷中継ポンプ場（富山市）	

③ 幹線管渠の維持管理

流域名	幹線管渠	放流渠
小矢部川	11 幹線 約 127km	1 放流渠 610m
神通川左岸	6 幹線 約 72km	3 放流渠 約 9km

（維持管理の内容）

- ・ 管渠、付帯計測設備及びマンホールポンプ場の維持管理
- ・ 道路高に合わせるためのマンホールの補修及びマンホール周辺等の舗装補修
- ・ 幹線管渠占用道路の巡回等点検調査

④ 環境マネジメントシステムの実施・運用

エネルギー使用量の削減や資源リサイクルの徹底など環境に配慮した管理運営を行うとともに、富山県庁環境マネジメントシステムに沿った目標設定、目標管理及び報告を行った。

＜汚泥含水率の管理目標達成状況＞ ※ 省資源・省エネルギーの推進

流域名	脱水汚泥（含水率 78%以下）		乾燥汚泥（含水率 30%以下）	
	稼働日数	達成率	稼働日数	達成率
小矢部川	365 日	73.7%	321 日	95.3%
神通川左岸	365 日	84.9%	345 日	95.1%

⑤ 下水道施設の機能保持

ア 県が行う施設の更新、改修及び大規模修繕の協力

イ 維持管理に係る各種資料の提出

ウ 年報冊子の作成 … 令和 6 年 7 月に「令和 5 年度維持管理年報」を作成

⑥ パークゴルフ施設の維持管理（二上地区）

二上浄化センター緩衝緑地帯公園に整備されているパークゴルフ施設の保守管理を行った。

流域名	利用者数 ※ 開設期間は 4/1～11/30		
	令和 6 年度	令和 5 年度	増減（前年度比%）
小矢部川	19,411 人	20,499 人	△1,088 人（94.7%）

⑦ 災害等に対応した施設管理

災害等の緊急時対応を想定した訓練を実施し、危機管理体制の充実を図った。

訓練名	実施年月日		主な訓練内容
	小矢部川	神通川左岸	
異常降雨訓練	令和6年6月19日	令和6年5月31日	異常流入時の対応確認
震 災 訓 練	令和6年5月24日	令和6年9月30日	情報伝達等の訓練
停電対応訓練	令和7年2月4日	令和6年5月31日	操作手順の確認
火災対応訓練	令和7年3月24日	令和6年9月30日	対応手順の確認

⑧ 修繕事業（1件100万円未満の修繕）

流域名	件数	金額
小矢部川	46 件	9,644 千円
神通川左岸	54 件	13,594 千円
合計	100 件	23,238 千円

（3）広域汚泥処理維持管理事業

① 溶融スラグの発生量と有効利用

（単位：t／年）

流域名	令和6年度		有効利用内訳			利用率 C/(A+B)
	スラグ生成量 (A)	過年度在庫 (B)	建設資材 ※	有償売却	計 (C)	
小矢部川	857	283	589	0	589	51.7 %
神通川左岸	513	62	418	0	418	72.7 %
合計	1,370	345	1,007	0	1,007	58.7 %

※ 県及び流域関連市の下水管理戻材等として有効利用

② 高岡市公共下水道の下水汚泥の受入処理 ※ 県と高岡市が契約

流域名	受入汚泥量（乾燥固形物量）		増減（前年度比%）
	令和6年度	令和5年度	
小矢部川	775.5 t／年	899.5 t／年	△124.0 t（86.2%）

(4) 普及啓発事業

① 施設見学の募集及び対応

小学校や自治会、地域の方々などを対象に施設見学を随時受けし、下水道の役割や施設の案内などの説明を行った。

場 所	施設見学者			備 考
	小学校		その他	
	学校数	人数	人数	
二上浄化センター	22 校	1,228 人	91 人	対前年度 +298 人
神通川左岸浄化センター	9 校	423 人	282 人	
合 計	31 校	1,651 人	373 人	

② 夏休み水の研究室の開催

保護者同伴の小学生を対象に、施設見学や簡単な水質実験、下水をきれいにする微生物の顕微鏡観察など、実体験をととして下水道の役割について理解を深めた。

場 所	開催日	参加者	備 考
二上浄化センター	7 月 26 日	小学生と保護者 7 組 18 人	対前年度 +6 人
神通川左岸浄化センター	8 月 7 日	〃 4 組 8 人	

③ 「9 月 10 日下水道の日」懸垂幕・横断幕の掲示

毎年 9 月 10 日は「下水道の日」と定められており、下水道の役割や下水道整備の重要性などの理解と関心を一層深めるため、懸垂幕等を掲示した。

場 所	種 類	掲示期間
二上浄化センター	懸 垂 幕	9 月 3 日～17 日
神通川左岸浄化センター	横 断 幕	

④ 下水道フェスタの開催

下水道事業の PR の一環として、県民、特に地域住民の方々に下水道への理解を深めていただくことを目的に、下水処理場を一般開放した下水道フェスタを開催した。

場 所	開催日	来場者	備 考
神通川左岸浄化センター	9/7 (土)	364 人	二上と神通川左岸で相互開催 対前年度 △204 人

⑤ 移動下水道教室の開催

施設見学に参加できなかった小学校を対象に、公社職員が訪問して下水道の役割や仕組みについて説明を行い、下水道に関する知識の普及啓発に努めた。

開催場所	開催日	参加者	備 考
金山小学校 (射水市)	11 月 5 日	8 人	主に小学校 4 年生が参加 対前年度 △77 人
放生津小学校 (射水市)	11 月 14 日	15 人	
神保小学校 (富山市)	11 月 20 日	39 人	
老田小学校 (富山市)	11 月 29 日	27 人	

⑥ 下水道に関するポスターコンクール

次代を担う子供たちに下水道の役割についての理解と関心を深めてもらうことを目的として、ポスターコンクールを実施した。

対象者	募集期間	応募作品	備 考
流域関連市の小学校4年生	6/21～9/6	16校、279点	対前年度 +1校、+33点

⑦ 下水道に関するポスターの展示

下水道を紹介するとともに、その大切さや重要性を広く一般に普及啓発することを目的として、ポスター展示会を実施した。

展示場所	展示期間	備 考
イオンモールとなみ	11/21～11/26	ポスターコンクールの 入賞作品45点を展示
イオンモール高岡	11/28～12/3	
ファボーレ	12/5～12/10	

2 自主事業

会社の社会的使命である「公共用水域等の環境保全」活動推進の見地から、市町村の下水道関係者を対象とした会議の開催や、水質分析に関する市町村への技術的アドバイスなど、情報の提供や共有を行い下水道維持管理技術の向上を図った。

(1) 調査研究・研修・技術支援事業

① 下水道フォーラムの開催

場 所	開催日	参加者	備 考
二上浄化センター	7月19日	県及び9市町1組合 21名	二上と神通川左岸で 相互開催

② 溶融スラグの有効利用に関する調査研究

- ・ 溶融スラグの性状調査を行った。

(2) 水質分析受託事業 … 県内9市町組合から受託

水質分析受託種別	市町村名
流域関連公共下水道から流域下水道幹線管渠接続点への流入水、流域関連市の特定事業所の排水	高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市
県内市町村の終末処理場・農業集落排水等の処理場の流入水・放流水	高岡市、射水市、氷見市、上市町、朝日町、中新川広域行政事務組合
汚泥試験	高岡市、氷見市、朝日町、中新川広域行政事務組合

3 重要な契約に関する事項

業務委託名	契約年月日	契約金額(円)	契約期間
広域汚泥処理事業等運転管理その他業務委託	令和5年3月27日	1,301,300,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
神通川左岸流域下水道神通川左岸浄化センター等運転管理業務委託	令和5年3月27日	766,700,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
小矢部川流域下水道二上浄化センター等運転管理業務委託	令和5年3月27日	719,400,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
小矢部川流域下水道幹線計装設備等保守点検業務委託	令和5年3月27日	64,240,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
富山県流域下水道電気工作物保安点検業務委託	令和5年3月27日	39,494,400 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
神通川左岸流域下水道幹線計装設備保守点検業務委託	令和5年3月27日	37,950,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
二上浄化センター庁舎清掃等業務委託	令和5年3月27日 (令和6年11月22日)	35,508,000 円 (35,497,000 円)	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
富山県流域下水道ダイオキシン類等調査業務委託	令和5年3月27日	31,900,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
富山県流域下水道消防設備等保守点検業務委託	令和5年8月9日 (令和7年2月28日)	31,240,000 円 (31,512,800 円)	令和5年8月9日 ～令和10年3月15日
小矢部川流域下水道幹線管渠(高岡土木センター管内)保守点検業務委託	令和6年3月29日 (令和7年3月25日)	15,290,000 円 (16,347,100 円)	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日
神通川左岸浄化センター庁舎清掃業務委託	令和5年3月27日	15,180,000 円	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日
小矢部川流域下水道幹線管渠(砺波土木センター管内)保守点検業務委託	令和6年3月29日 (令和7年3月25日)	12,870,000 円 (14,081,100 円)	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日
神通川左岸流域下水道幹線管渠(富山土木センター管内)保守点検業務委託	令和6年3月29日 (令和7年3月25日)	9,350,000 円 (10,901,000 円)	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日
複数年契約 計13件			
広域汚泥処理事業等運転管理に係る消耗品管理業務委託	令和6年3月27日 (令和7年3月17日)	57,860,000 円 (62,720,900 円)	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日
小矢部川流域下水道二上浄化センター運転管理に係る消耗品管理業務委託	令和6年3月27日 (令和7年3月12日)	19,872,600 円 (31,937,400 円)	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日
神通川左岸流域下水道神通川左岸浄化センター運転管理に係る消耗品管理業務委託	令和6年3月29日 (令和7年3月17日)	21,450,000 円 (23,612,600 円)	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日
二上浄化センターデータ処理装置等点検業務委託	令和7年1月6日 (令和7年3月13日)	11,990,000 円 (17,529,600 円)	令和7年1月6日 ～令和7年3月21日 (～令和7年3月28日)
二上浄化センター活性炭取替業務委託	令和6年8月6日	14,850,000 円	令和6年8月6日 ～令和6年11月30日
富山県流域下水道環境調査業務委託	令和6年3月27日 (令和7年2月18日)	14,190,000 円 (14,381,400 円)	令和6年4月1日 ～令和7年3月28日
神通川左岸浄化センターデータ処理装置等点検業務委託	令和7年1月6日 (令和7年3月17日)	11,990,000 円 (12,738,000 円)	令和7年1月6日 ～令和7年3月21日
単年契約 計7件			

※ 令和6年度に実施した業務委託のうち、契約金額 10,000 千円以上のものを記載

※ () 内は変更契約に係るもの

4 評議員会及び理事会の開催等（令和6年度）

（１）評議員会の開催

開催日・場所	付議事項
第1回定時評議員会 令和6年6月26日 富山県民会館701号室	報告事項 令和5年度事業報告の件 決議事項 議案第1号 令和5年度計算書類等の承認の件 議案第2号 評議員の選任の件 議案第3号 理事の選任の件 議案第4号 監事の選任の件
第1回臨時評議員会 令和7年3月31日 (書面による決議)	決議事項 議案第1号 評議員の選任の件 議案第2号 理事の選任の件

（２）理事会の開催

開催日・場所	付議事項
第1回定時理事会 令和6年5月27日 富山県民会館611号室	決議事項 議案第1号 令和5年度事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録について 議案第2号 令和6年度定時評議員会の招集決定について 報告事項 理事長・業務執行理事の職務執行状況について
第1回臨時理事会 令和6年6月26日 (書面による決議)	決議事項 議案第1号 理事長の選定について 議案第2号 常務理事の選定について
第2回定時理事会 令和7年3月28日 富山県民会館401号室	決議事項 議案第1号 令和6年度収支予算の補正について 議案第2号 令和7年度事業計画及び収支予算について 議案第3号 令和7年度資金運用に係る年次運用方針について 議案第4号 令和6年度第1回臨時評議員会の招集決定について 理事長の職務執行の報告 1 令和6年度常勤理事の報酬等の改定について 2 富山県流域下水道の管理の業務に係る条件等の変更の同意について 報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

(3) 評議員、役員の任免

職名	新任者	前任者	摘要	発令日
評議員	江幡 光博	水口 功	富山県道路公社副理事長の異動	R6. 4. 1
〃	竹野 博和	國谷 勝	(公財)とやま環境財団専務理事の異動	R6. 4. 1
〃	菊地 正寛	小杉 健	富山県経営管理部次長の異動	R6. 4. 1
〃	山下 章子	飯田 裕	富山県土木部次長の異動	R6. 4. 1
〃	(空席)	菊地 正寛	富山県経営管理部次長を退職	R6. 9. 20
理事	西田 政司	今本 雅祥	富山市副市長の異動	R6. 4. 1
〃	金谷 英明	市井 昌彦	富山県土木部長の異動	R6. 4. 1
監事	波能 映子	堀口 正	富山県会計管理者の異動	R6. 4. 1

(4) 規程等の制定、改正

なし

(5) その他の重要事項

なし

5 埼玉県八潮市の道路陥没を受けて

埼玉県八潮市の道路陥没事故（令和7年1月28日発生）を受けて、1月29日に県都市計画課より緊急点検の指示があり、3月14日までに流域下水道幹線管渠（約200km）の点検を全て完了したが、陥没事故につながるような異常は確認されていない。

<下水道公社直営での点検>

管径2m以上等の国の点検に準じた箇所（L=2.8km）及び腐食環境下にある箇所や設置後30年以上経過している箇所（L=21.9km）を中心に、路面巡視やマンホール点検を実施した。

<業者に委託しての点検>

流域下水道幹線管渠全線（L=約200km）について、路面巡視を実施した。

6 予算の執行管理及び決算の概要

(1) 予算の執行管理

収支予算で計上されている収入の大半は、指定管理者の指定を受けた時点（令和4年度）で想定された流入水量及び物価動向を前提に計上されたものであり、これらの前提に大幅な変更が生じた場合は、県との協議により指定管理料が増額又は減額できることとなっている。

したがって、収支予算で計上された経常費用の執行に当たっては、上記収入見込みを的確に把握し、計画的な執行管理が求められる。

(2) 令和6年度決算の概要

① 収益

物価高騰（光熱水料費、薬品費の増）及び県の大規模修繕に伴う追加業務による指定管理料の増額変更（令和7年3月、199,450千円増）などにより、対前年度比79,835千円増の2,065,382千円となった。

② 費用

物価高騰等の影響（特に電気代の高騰・高止まり、薬品費及び委託費（薬品分）の高騰）及び県の大規模修繕に伴う追加業務などにより、対前年度比80,716千円増の2,066,434千円となった。

③ 当期経常増減額

令和6年度決算は1,051千円の赤字となったが、概ね収支相償を満たすこととなった。

<直近3年度の当期経常増減額及び正味財産期末残高>

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (今回報告)
経常収益	1,693,633	1,824,712	1,985,547	2,065,382
経常費用	1,726,828	1,824,874	1,985,718	2,066,434
当期経常増減額	△33,196	△163	△171	△1,051
正味財産期末残高	190,521	190,358	190,188	189,136

※ 千円未満を四捨五入しているため、表の内容と増減額又は期末残高が一致しない場合がある。